

# 鶴岡市主催イベント等における「3つの条件が同時に重なった場」を避ける具体的な取組内容

## 1 密閉（換気の悪い密閉空間）対策

- 換気設備の適切な運転、点検を実施し、換気機能がない施設においては、窓や扉を開けながらの対応とする。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)
- 1時間に1～2回程度の定期的な換気を励行する。  
(3/24付、「県主催イベント等に関する今後の対応について」より)

## 2 密集（多くの人々が密集する場所）対策

- お互いの距離を1～2m程度あける  
(3/24付、「県主催イベント等に関する今後の対応について」より)
- 会場に入る定員をいつもより少なく定める。(座席等の間隔をとるよう促す)  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)
- 大規模イベント等については、誘導員を配置し、人を密集させないため、入退場に時間差を設けたり、通路に誘導のためのラインを引くなどの工夫を行う。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)

## 3 密接（近距離(互いに手を伸ばしたら届く距離)）対策

- 人が集まる場での対策
  - ・声を出す機会の多い場面はマスクを着用させる。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)

# 鶴岡市主催の大規模イベント等における「人があつまる場の前後も含めた適切な感染予防」の具体的な取組内容

## 1、集団感染予防への対応

- ・「過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方」や「感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方」は、参加を控えていただくよう事前に周知するとともに、イベントの案内等を送付する際にチラシを同封したり、入場前の入り口や窓口にポスターやチラシを設置し周知を行う。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)
- ・参加者に対し、事前に体温の測定ならびに症状の有無を自ら確認し、具合の悪い場合は参加を認めないことを、上記の要領で周知を徹底する。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)
- ・非接触式体温計による対応が可能な場合については、できる限り、参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い方は参加を認めない。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)

## 2、イベント時の手洗い環境

- ・アルコール消毒液を入退場口等に設置する。  
(「県主催イベント等に関する今後の対応について」より)
- ・会場に入る際の手洗い実施、イベントの途中においても適宜手洗いができる場の確保。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)

## 3、消毒及び清掃

- ・参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含むもので定期的にふき取りを行う。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)

---

## 鶴岡市主催の大規模イベント等における「感染が発生した場合の参加者への確実な連絡方法の確保」の具体的な取組内容

---

### 1、参加者の連絡体制

- ・屋内でのイベントについては、参加者の中に感染者が出た場合の対応として、受付で来場者受付簿を作成する。なお、入場券の主催者控え（半券）に記入してもらうことも可とする。
- ・記入する項目は、氏名、住所、連絡先（電話番号）とする。  
(3/19付、「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」より)  
→人が集まる場に参加した者の中に感染者がでた場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。
- ・屋外のイベントについては、不特定多数の者が参加する形式を変更し、事前に参加者を特定できるようにイベントの内容をできる限り見直す。その上で、当日事前登録のない入場者を把握できる出入口を設置し、可能なかぎり屋内と同様の対応に努める。